

県民の森 だより 10月号 2016



発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

どんぐり実物は館内にて常時展示中

どんぐりの季節です

カシ・ナラ・カシワなどのブナ科の果実をまとめて「どんぐり」と呼びますが、どんぐりを拾ってしばらくすると、白いイモムシが出てきた！という声をよく耳にします。どんぐりの中に、一体どんな虫が入っているか、ご存じですか???

落下前のどんぐりに卵を産むハイイロチョッキリは、主にコナラのどんぐりがまだ青くて柔らかいうちに、穴を開けて卵を産み、穴を埋めてどんぐりがついたまま枝ごとちょっつきり、と切り落とします。枝付きの青いどんぐりが落ちていたら、恐らくハイイロチョッキリの仕業です。

同じく落下前のどんぐりに卵を産む、コナラシギソウムシやクヌギシギソウムシ、クリシギソウムシなどは、若いうちの実に卵を産み付け、実を食べて育った幼虫は穴を開けて出てきて土中で越冬します。他にも冬場の落下後のどんぐり（主にカシ類）を食べて育つハマキガの仲間の幼虫や、発芽前のどんぐりに卵を産むドングリキクイムシなどもあります。

ちなみにクラフトで使うどんぐりは、拾ったらすぐに茹でております（かわいそうですが…）。



ハイイロチョッキリ (全長7～9ミリほど)



泉松陵高校マラソン大会が開催されます

10月21日（金）12：00～14：00、泉松陵高校のマラソン大会が開催され、県民の森内一部遊歩道がマラソンコースとして利用されます。散策の皆様方にはご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

県民の森名木紹介 vol.23 アサダ

アスレチックコースの最終盤、林間広場から登る遊具の右側に木肌にハガシが特徴的な高木があります。カバノキ科の「アサダ」です。葉に毛が密生し、肌触りがいいのももう一つの特徴です。

県民の森地内では数本確認していますが、多くない樹種です。（工藤）



いつもご来園ありがとうございますのコーナー 仙台ゆんた虹のこども園 のみなさん

「森のこども園」として、県民の森を定期的にご利用頂いております。シュタイナー教育の思想に基づいた、ちいさな幼稚園と親子クラスを開催されており、県民の森利用歴は約10年ほど(!)。10月8日（土）～30日（日）まで、館内にて作品展も開催致しますので、ぜひお立ち寄り下さい。



今月のけんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんひのひとコマ



クサギ (シソ科) 臭木



ツルリンドウ (リンドウ科) 蔓竜胆



ツクバネ (ビャクダン科)



テングタケ (テングタケ科)

名前は枝や葉をちぎると強い臭気があることによります。果実が藍色に熟し赤い萼が星形に平開し見事なコントラストを見せてくれています。若葉は山菜に、果実は草木染、根は薬用に利用されます。先駆植物で日当たりの良い伐採地、林縁、荒地など肥沃な場所に多く見られます。（駒野）

莖はつる性で、地面を這ったり、他の植物に絡まる。花はリンドウに似ています。山地の木陰に生え、花の頃はあまり目立ちませんが、この時期残存する花冠の上に突き出した紅紫色の果実が、存在を知らせてくれます。（駒野）

お正月のはねつきの羽根に良く似た実が特徴的で、中央記念館北側の遊歩道で多く見られます。葉で光合成をして、根はスギやモミ、アセビなど他の木に寄生し栄養分を吸収するため、半寄生植物と呼ばれます。雌雄異株。（入岡）

野外炊飯場前に幼菌から成菌まできれいに勢ぞろいして、思わず見とれてしまいました。初夏から秋にかけて広葉樹林の地上に発生する毒キノコです（針葉樹林に生える大型のイボテングタケとは別種）。（入岡）

イベントのスケジュールなどは裏面「10月・11月のイベント情報」をご覧ください